

事業所名

多機能型事業所Bro's Gardenわさだ(放デイ)

支援プログラム (Bro' s kidsわさだ)

作成日

8 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたちの最善の利益を大切に、子ども、保護者の笑顔があふれる毎日に！					
支援方針		利用者が日常的における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活に適応することができるよう、利用者の身体及び精神の状況、並びにその置かれている環境に応じて適せるかつ効果的な指導を行うものとする。					
営業時間		9 時	00 分から	18 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態を学校やご家庭を連絡を取り合い、睡眠・食事・排泄等の状況を把握し、顔色や服装・メンタル面の小さなサインを見逃さないよう観察を行う。 検 温や消毒を行い、衛生管理にも注意を払う。 個々の発達段階や生活環境を鑑み、飲食への配慮や清潔にすることの大切さ等の基本的な生活スキルの向上を目指していく。					
	運動・感覚	それぞれが持つ特性を把握し、出来ることから少しずつ挑戦していきながら、日常生活に困難をきたさないような対策を考え支援をする。感覚の過敏・鈍麻に対する特性を踏まえ、楽しみながら体を動かしたり、指先を使った活動をしたり、五感や平衡感覚・固有感覚を意識した活動を行っていき、つまづきを理解し「できなかったことができるようになった！」達成感を味わい、自信に繋げていけるようにする。					
	認知・行動	製作活動により、手先指先を使用することにより物を介した感覚を認知し、時間をかけて1つの作品を作り上げる喜びや達成感を味わう。 一年を通して季節にあった行事を体験することにより季節の流れや時間の流れを感じる。 食 育活動を通して、食べ物が口に入る喜びと美味しさを体験し、繰り返すことで感覚を養い、自発的行動を芽生えさせる。 個人の発達段階にあった介入を行い成長発達を促す。					
	言語 コミュニケーション	自分の思いを様々な手段（話す・文字盤・書字等）を用いて表出し、コミュニケーションを円滑にする。個々の特性に応じた読み書き向上のための支援を行う。 個 自己表現が他者に伝わる喜びを知り、意思疎通を体験する。 人の発達段階にあった介入を行い成長発達を促す。					
	人間関係 社会性	職員と継続的に関わることにより、信頼関係を構築し安心を得る。 特性に配慮しながら、様々な人との関わり、経験を積んで相手への配慮や社会性を学び、尊敬やいたわる気持ちをもって接することができるようにする。 公共の場での約束やルールを理解し、その場にあった振る舞いができるよう支援をする。					
家族支援		ご家庭や相談員、学校等と連携を図りながら、相談援助を行う。		移行支援		必要に応じて学校等を訪問し、対応方法等の関わり方について、共通理解を図り、事業所以外の生活も充実に向け取り組む。 当事業所のB型作業所の見学やインターンシップ等を経験することにより、興味や就労に対する見直しも持てるようにする。	
地域支援・地域連携		地域連携会議への参加		職員の質の向上		職員の各種勉強会や研修への参加	
主な行事等		4月（戸外散策・花見） 5月（子どもの日） 6月（家族の日制作） 7月（七夕・夏遊び） 8月（夏あそび・BBQ） 9月（お月見） 10月（ハロウィン） 11月（戸外散策） 12月（クリスマス） 1月（お正月行事） 2月（節分） 3月（雛祭り）、各月の誕生日会 など					